

## 第5回 モビリティサポート有識者委員会の概要

### 1. 開催日時等

日時： 平成24年3月9日（金） 13:00～14:30  
場所： 中央合同庁舎3号館13階 国土政策局会議室  
出席者： 委員長 岡部 篤行 青山学院大学総合文化政策学部 教授  
委員 河端 瑞貴 東京大学空間情報科学研究センター 准教授  
委員 竹中 ナミ 社会福祉法人プロップ・ステーション 理事長  
委員 寺部 慎太郎 東京理科大学理工学部 准教授  
委員 古屋 秀樹 東洋大学国際地域学部 教授  
事務局： 国土交通省政策統括官付

### 2. 委員からの主な意見

#### 【事業全体に対する意見】

- 歩行者移動支援には、ユニバーサル社会に向け高齢者、障がい者等を主な対象としたものと、必ずしも高齢者、障がい者等に限定せず一般の観光ナビゲーションにバリア情報を付加したものがある。前者は、ビジネスとしては成り立ちにくい部分もあると思う。
- 各地区とも意欲的に取り組んでいる。普及の観点からは、スマートホンを利用するのが基本的な流れ。また、歩行者移動支援サービスがビジネスとして成り立つかは、地域特性の要素が大きい。外からの訪問者が多い地域はビジネスとして成り立つと思うが、そうでない地域では公共が担う部分も出てくると思う。
- 様々なナビゲーションサービスが提供されている流れで行くと、歩行者移動支援サービスもビジネスとしてやっていくべきものとする。
- 各地区とも思った以上の成果が上がっていると思う。

#### 【各地区での取組に対する意見】

協議会の名称	有識者委員会からの主な意見
函館市ユニバーサルツーリズム推進協議会	<ul style="list-style-type: none"><li>・今後スマートフォンで使えるようにすべき。</li><li>・函館では、今回のサービスを行った西部地区だけでなく、五稜郭や湯の川も行く。継続性を考えるとそちらも対象エリアにしたほうが良い。</li></ul>
「東京ユビキタス計画・銀座」実施協議会	<ul style="list-style-type: none"><li>・このサービスで提供する情報は、障がい者だけでなく一般の人でも使えるようにした方が良い。</li><li>・車いす利用者は、外出する場合事前に現地を調べて行く。今回のシステムでも事前シミュレーション</li></ul>

	ンができると良い。
京都フラワーツーリズム推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 複数のバリアが近接してある場合に、提供内容の優先順位を付けて音声案内する発想が良い。</li> </ul>
長崎市LRTナビゲーション推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サービスの普及の観点から、地域のイベントをうまく活用している。また、公共交通機関と連携したサービスも良い。</li> <li>• 低床車両だけでなく、普通の路面電車の位置も分かるようにしたほうが利用者がより広まる。</li> </ul>

以 上